

宮城県感染症発生動向調査情報

平成30年5月10日発行

— 2018.4.30～2018.5.6 — 第18週 —

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							仙台市	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第15週	第16週	第17週	第18週
水痘	1 0.20	4 0.40	5 1.00					14 0.52	24 0.41	406	レ		○	レ
流行性耳下腺炎			1 0.20						1 0.02	55				
感染性胃腸炎	23 4.60	24 2.40	12 2.40	11 5.50	7 2.33	30 6.00	2 1.00	124 4.59	233 3.95	4,212	◎	◎	◎	◎
手足口病		1 0.10						3 0.11	4 0.07	186				
伝染性紅斑				3 1.50				3 0.11	6 0.10	67				
突発性発しん	3 0.60	2 0.20	1 0.20	1 0.50	3 1.00	3 0.60	2 1.00	14 0.52	29 0.49	436	○	○	○	○
ヘルパンギーナ								1 0.04	1 0.02	14				
インフルエンザ	11 1.38	10 0.67	9 1.13	2 0.67	6 1.20	9 1.13	4 1.00	27 0.61	78 0.82	33,821	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱			1 0.20	3 1.50		1 0.20		5 0.19	10 0.17	254				
流行性角結膜炎								1 0.17	1 0.08	51				
急性出血性結膜炎									0 0.00	5				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26 5.20	8 0.80	1 0.20	1 0.50		19 3.80	1 0.50	37 1.37	93 1.58	3,225	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎				4 4.00		1 1.00			5 0.42	60				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症	3 0.60	2 0.20				2 0.40		11 0.41	18 0.31	536	○	○	○	レ
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.08	18				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1												
	川崎病													
	不明発しん症							4						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 3例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))
仙台南管内 男性1名
結核(無症状病原体保有者)
仙台南管内 女性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: E型肝炎
大崎管内 男性1名
仙台南管内 男性1名

5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症
石巻管内 男性1名
仙台南管内 男性1名
仙台南管内 男児1名※
梅毒
石巻管内 女性1名

※男児、女児は6歳未満

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

報告なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第15週採取分 (4.9～4.15)	第16週採取分 (4.16～4.22)	第17週採取分 (4.23～4.29)
インフルエンザウイルスA(H3)型	2件	0件	0件
インフルエンザウイルスB型(山形系統)	1件	0件	0件
RSウイルス	0件	1件	1件
ヒトメタニューモウイルス	1件	1件	0件
アデノウイルス	1件	2件	2件

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
仙台南管内で警戒レベルを継続中です。

4. 今週のコメント

【E型肝炎】

E型肝炎は、E型肝炎ウイルス(HEV)に汚染された食物や水の摂取で感染し、症状は黄疸など肝機能悪化や腹痛などです。まれに劇症化し、特に妊婦が感染すると劇症肝炎の割合が高く、致死率が20%に達することがあります。2015年以降、全国の患者報告数は増加傾向がみられます。感染予防には、手洗いと飲食物の加熱が有効で、特に豚やジビエ(野生鳥獣)の肉・内臓を食べる際は十分に加熱することが大切です。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

